

門凡呂4
番 1601
巻

八剎尾 百廿一

因升嶽 百廿一

永種村

川多

山口 百廿一

雄嶺

龍畑

松林 記泉塚

山中 百廿一

長野屋

名所

大井

信達 百廿一

下地

井村

中

以

越通

信村

こま

貝塚 百廿一

洋和回 百廿一

大津

脚

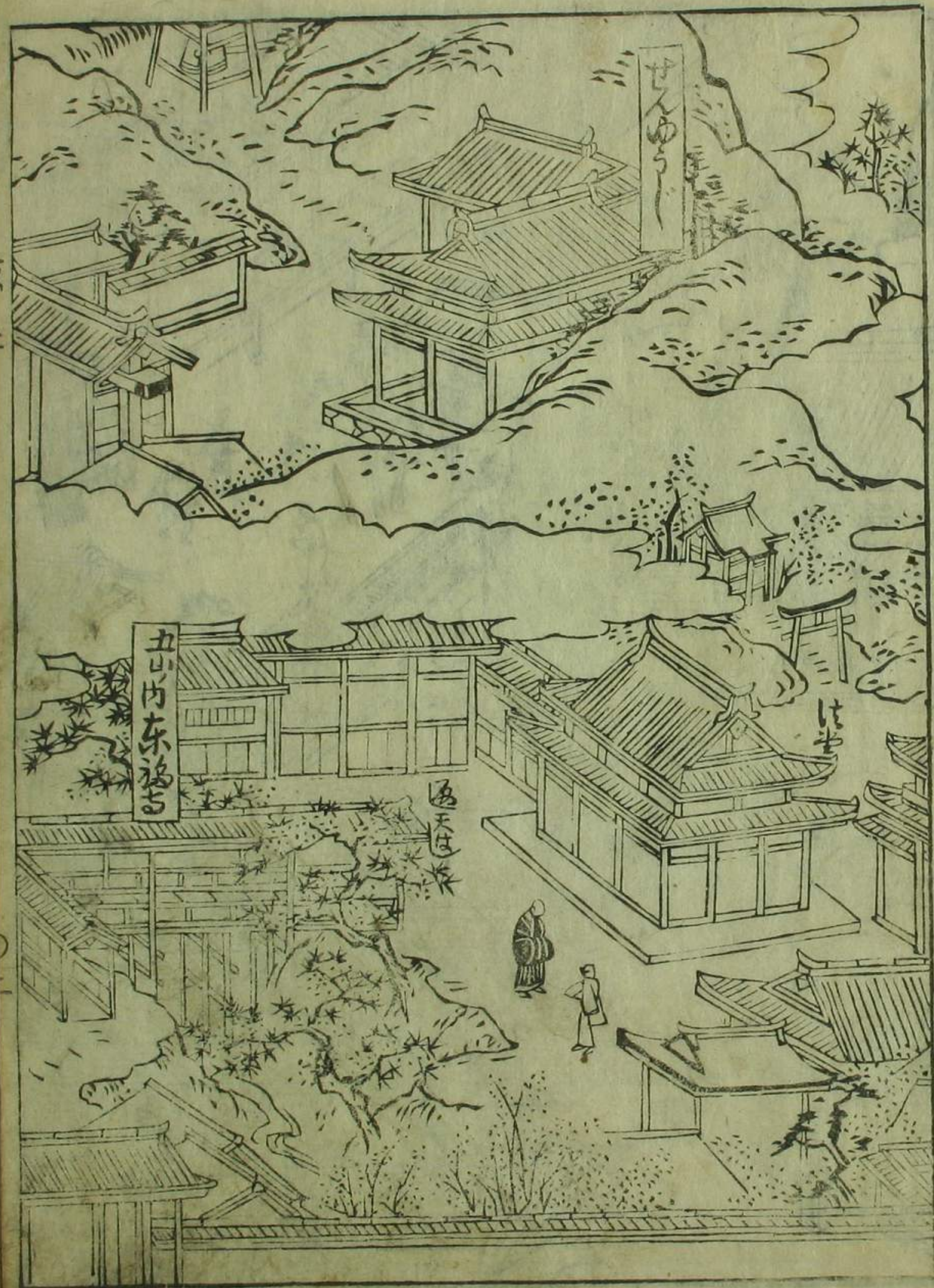
石津

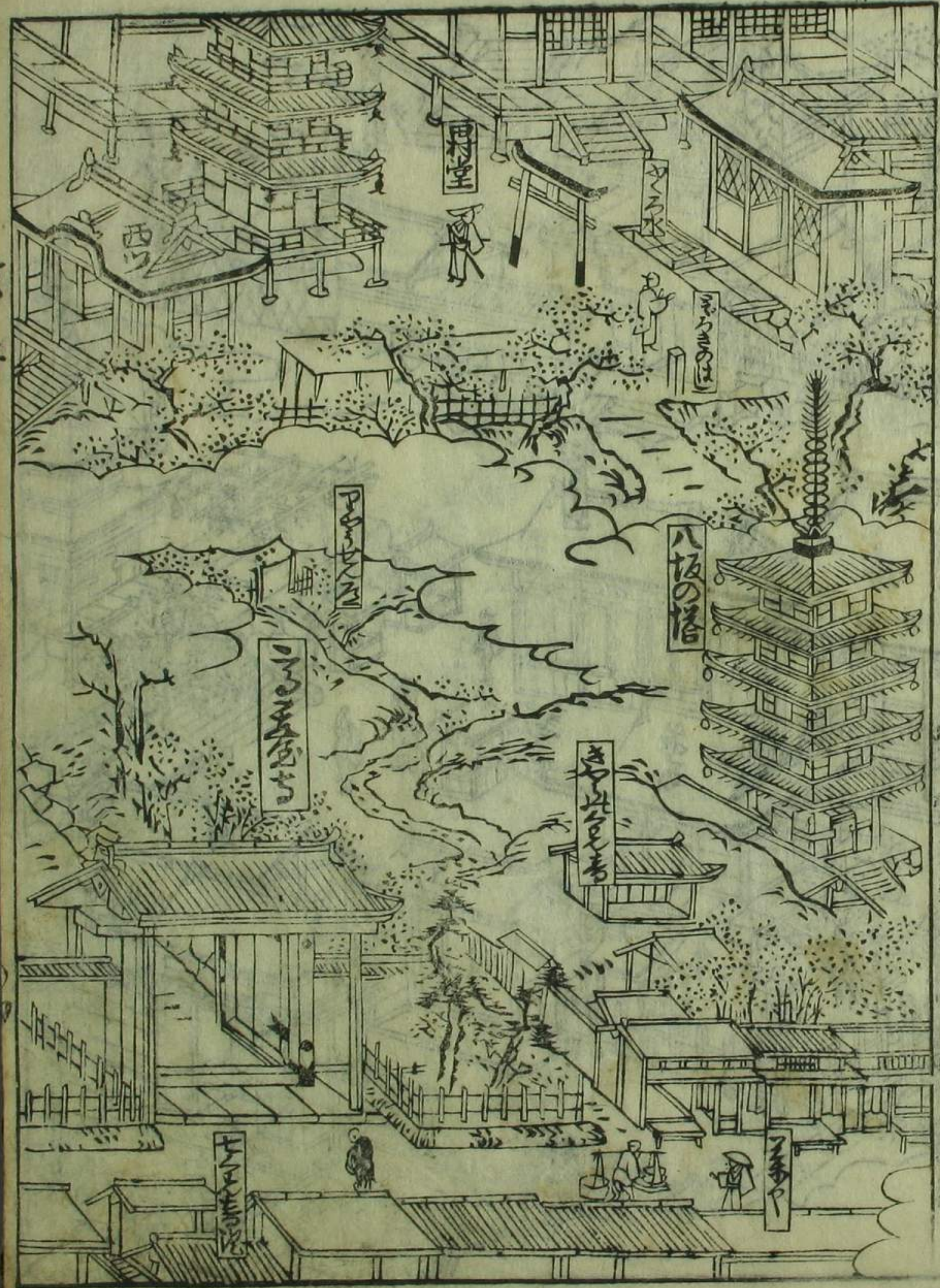
貝塚

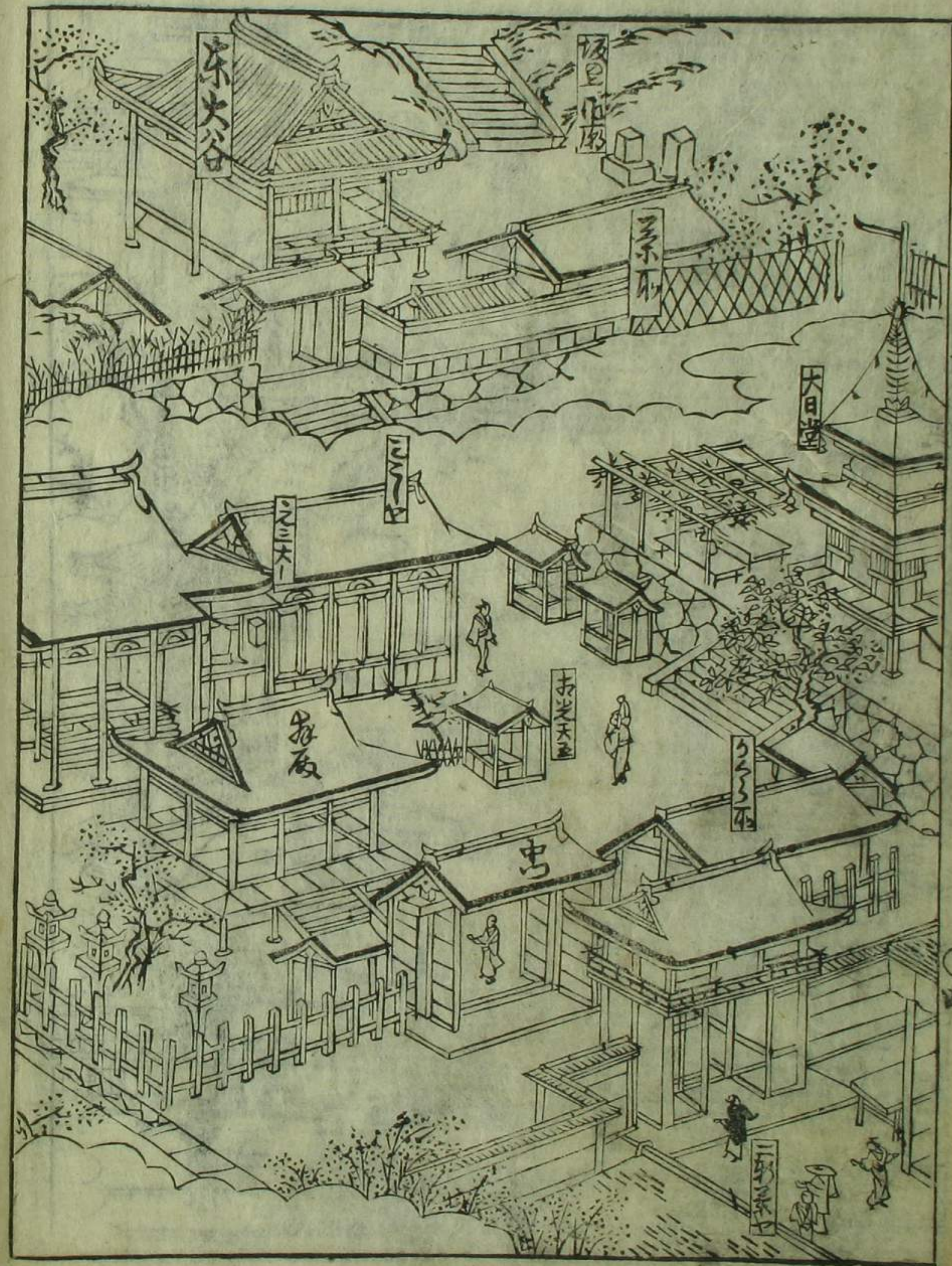
藤年 藤氏遺徳之記

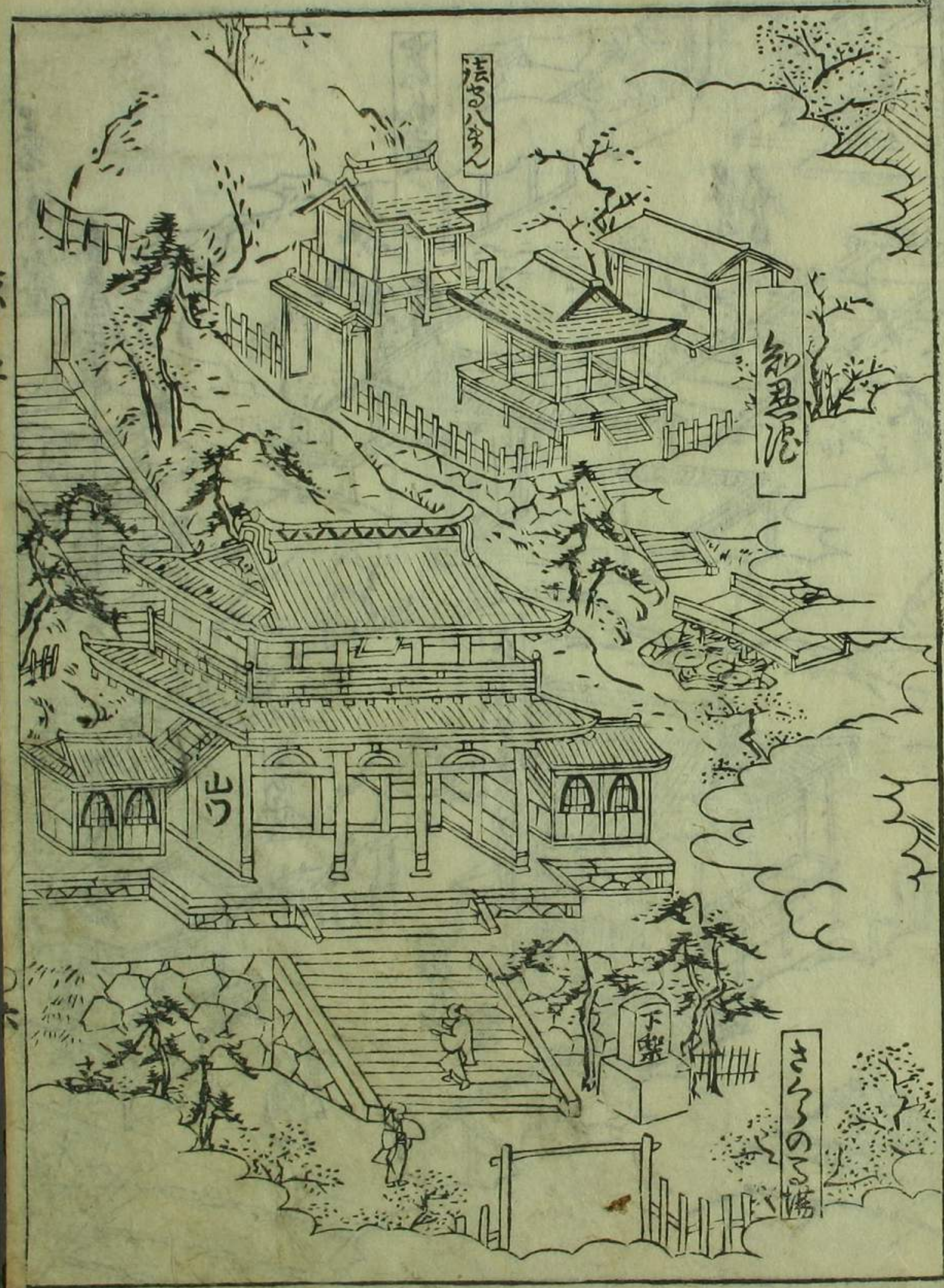


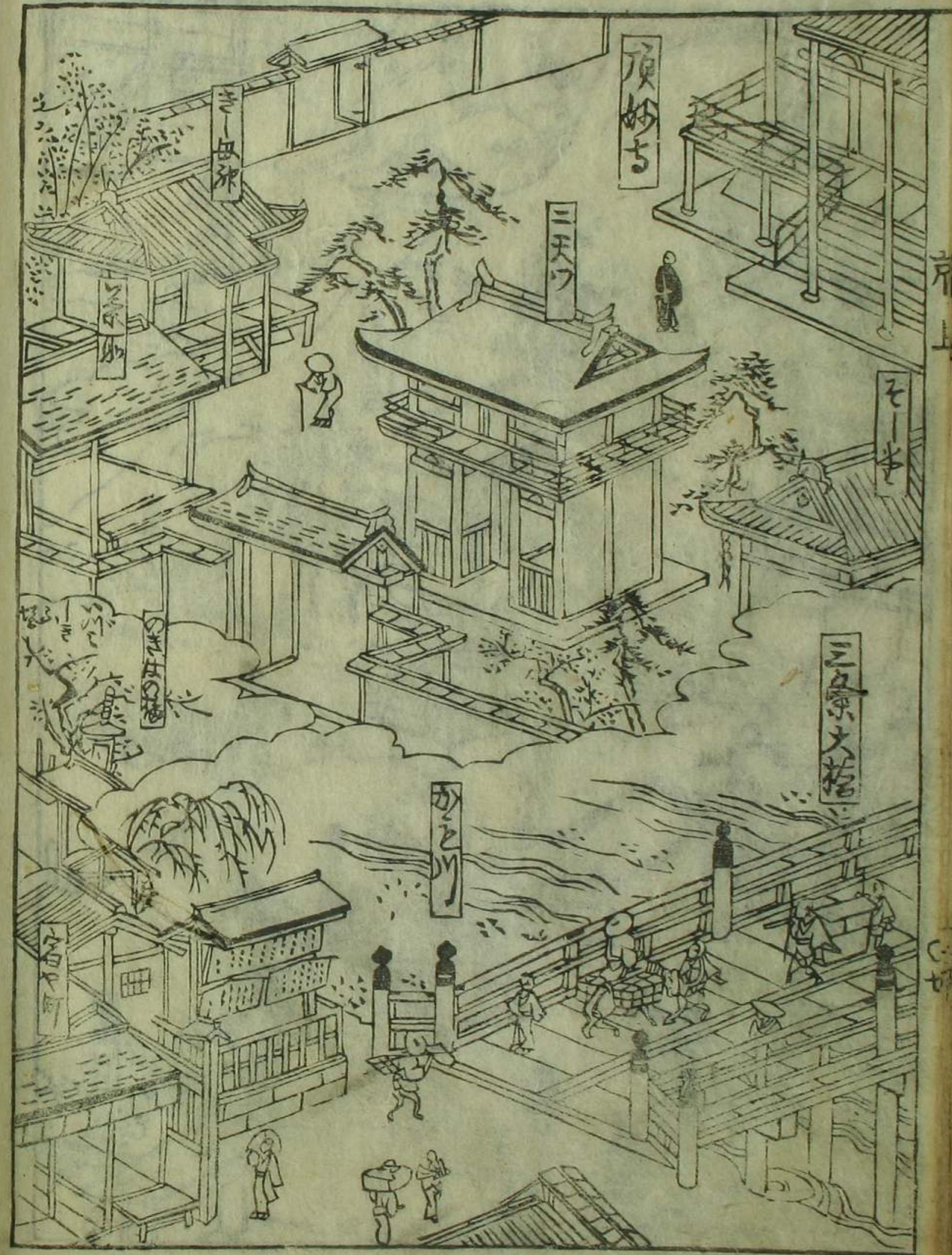
夫王城方代不景の地東八馬社馬氏所勝地とあり以て故小古社の地の中東大
巡歴の初程を記せしとと取返致事ありて世よりあるも古花洛畑見場と
歌七古社合々京馬宮事也只一事ありて内方接書て社社堂本此方角
五社此宮と撰て法中京名取号以て世となし所を洛陽社名取東山西山
あひふ洛中の社社佛宮のせて社ととなし京都巡歴の便少く凡といふ
○東山名取 福寿社 泉涌寺 東福寺 二十三日堂 大佛 西の大谷
清水 六波羅 八坂 寺養寺 寺井 東大谷 寺寺 北山 祇園社
建修 翠芝居 知恩院 南禅寺 黒谷 志願堂 普田 百方遍 比叡山
○洛中之分 三条橋 北野寺 頂妙寺 六角堂 寺野寺 草堂 下中寺
上京山之分 妙寺 妙寺 上寺 下院 上院 護寺 僧谷 寺野
下京山之分 寺野 寺野 東寺 六波羅 又東橋 西寺野 東寺野寺

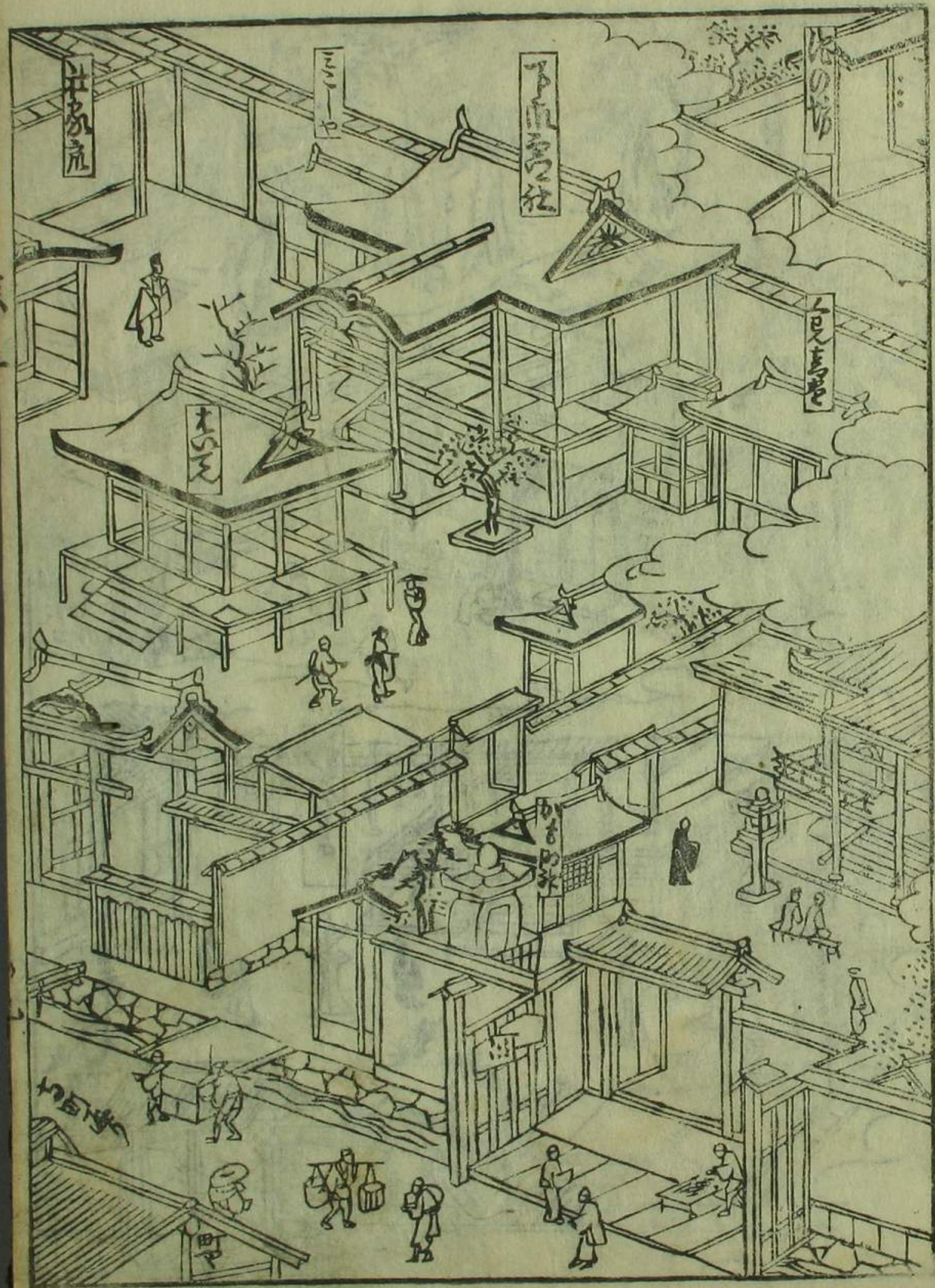




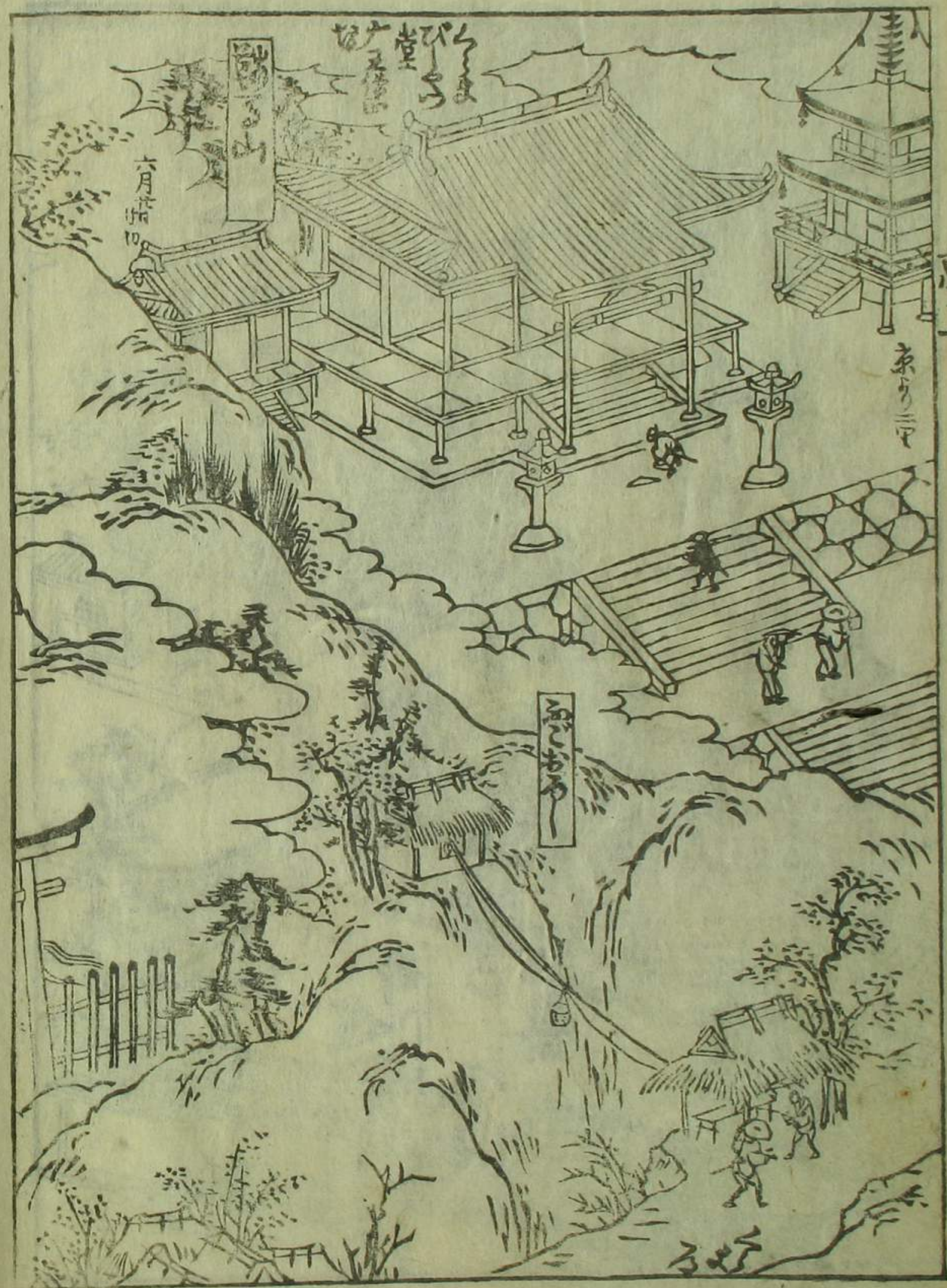


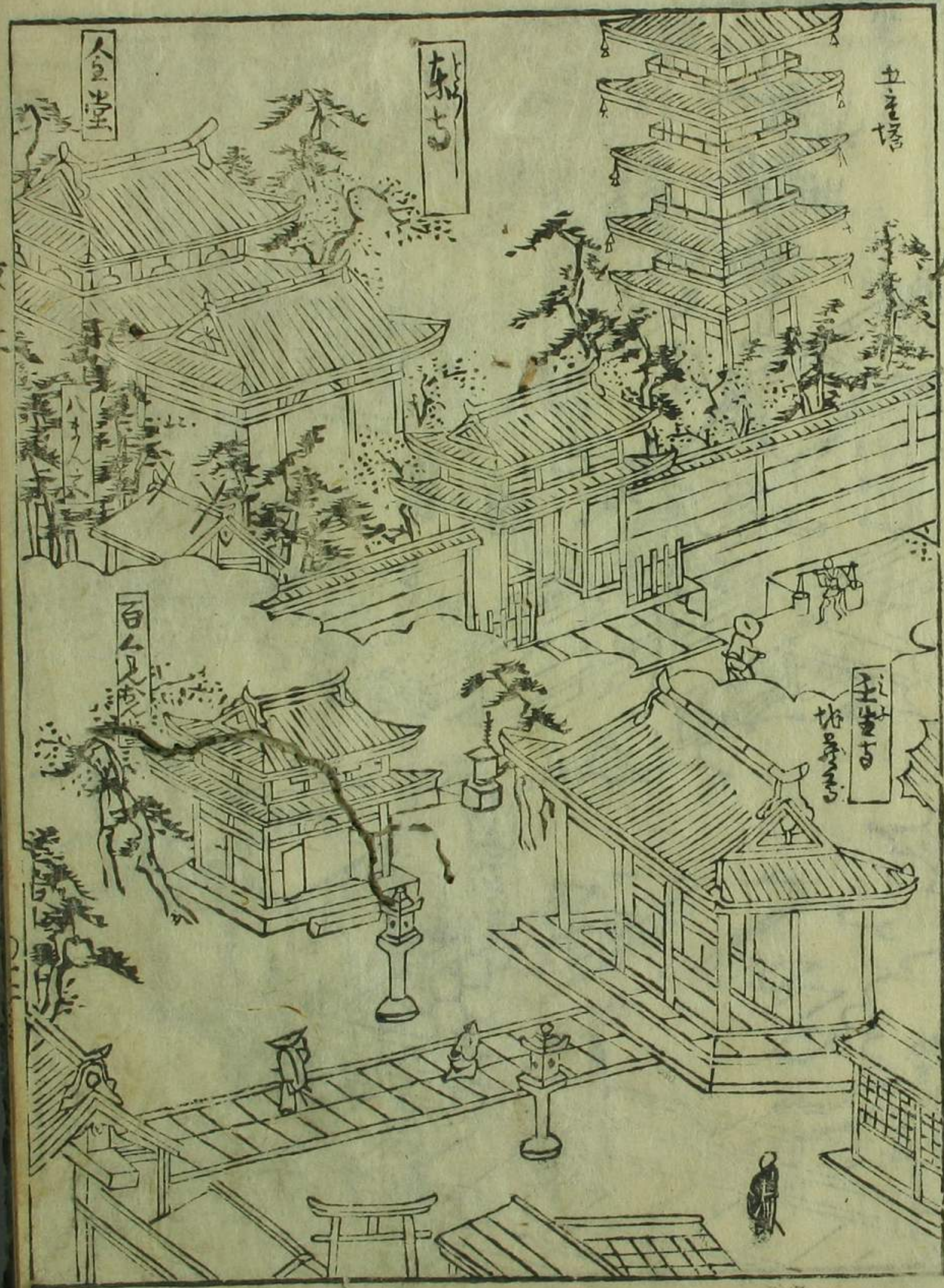


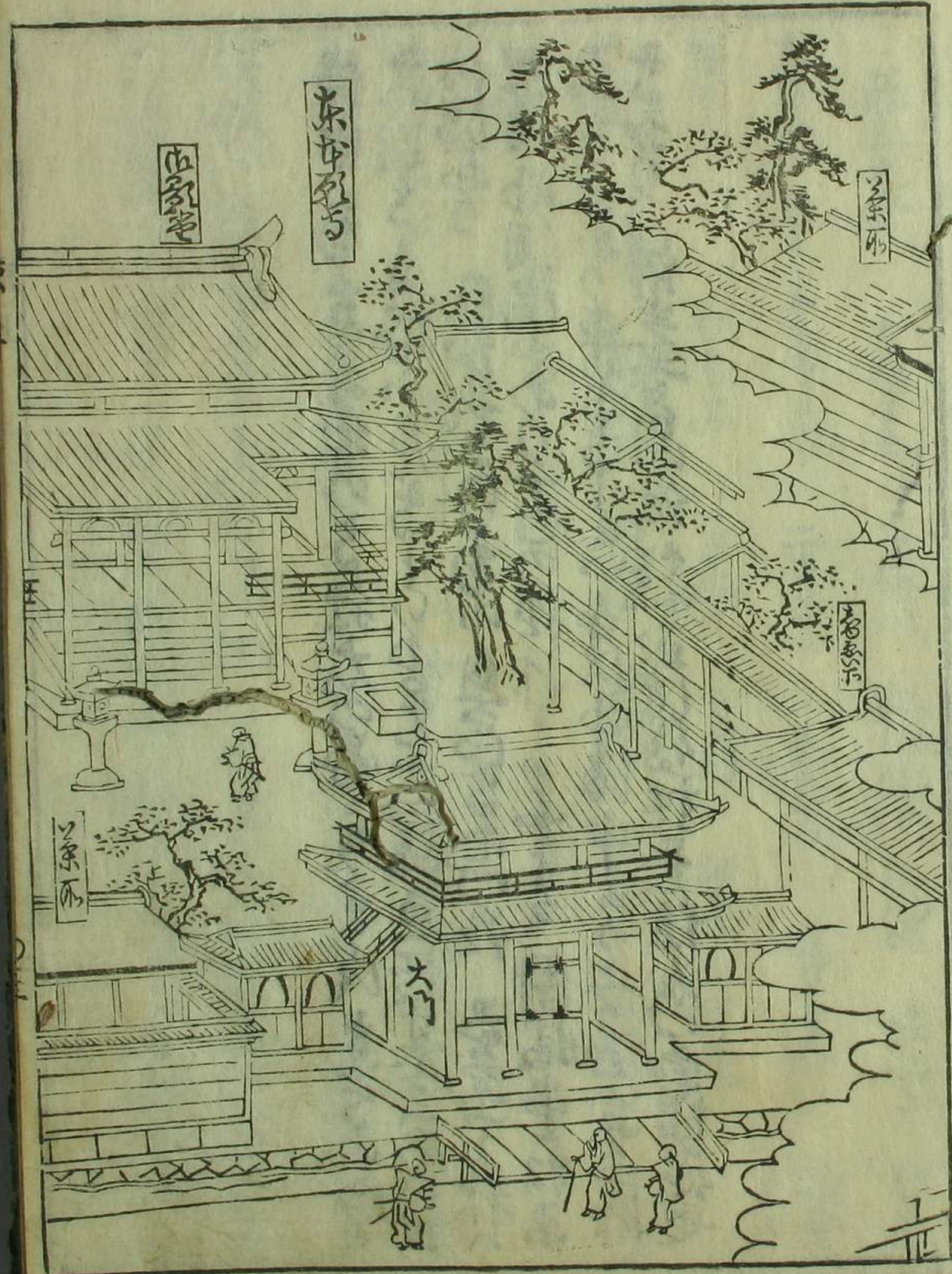












洛中も方々ありて此のち社々の最なるまづいふ所の如し
 大道もまた俗に尼寺といふ所をたてし後五経其の社
 の地あり 西の社ありのち自ら心すなりて 西の社あり
 松系西園院ありて匡の社社と名をまゐる 因幡半松系
 鳥居あり車坐ありといふは西海中より上りて松系
 あり 佛堂ありて松系 西 五経社に是後加口宅地の地也

○西山之分

うりまき 下法城 釈迦堂 嵐山 法橋寺 松尾

大井川 川中 小名町 二子院 天鼓寺 野々宮 岐重寺

梅の宮 あごご山 月輪 高雄 榎尾 松尾

山宮 昭勝 廣沢池 妙心寺 金園寺 松重寺 高持院 今宮

大徳寺 北野

大井川より川上丹波保津村まで川舟まゝ三里ありて下さる川を
 龜山ありて川上大徳寺ありて大井川より丹波の内小戸波津の津あり
 法橋寺保津にも三里ありて丹波川より川上浮田町村ありて龜山本村
 といふ保津の川向ありけ川舟小津側又六津ありて松系より別宗跡といふ





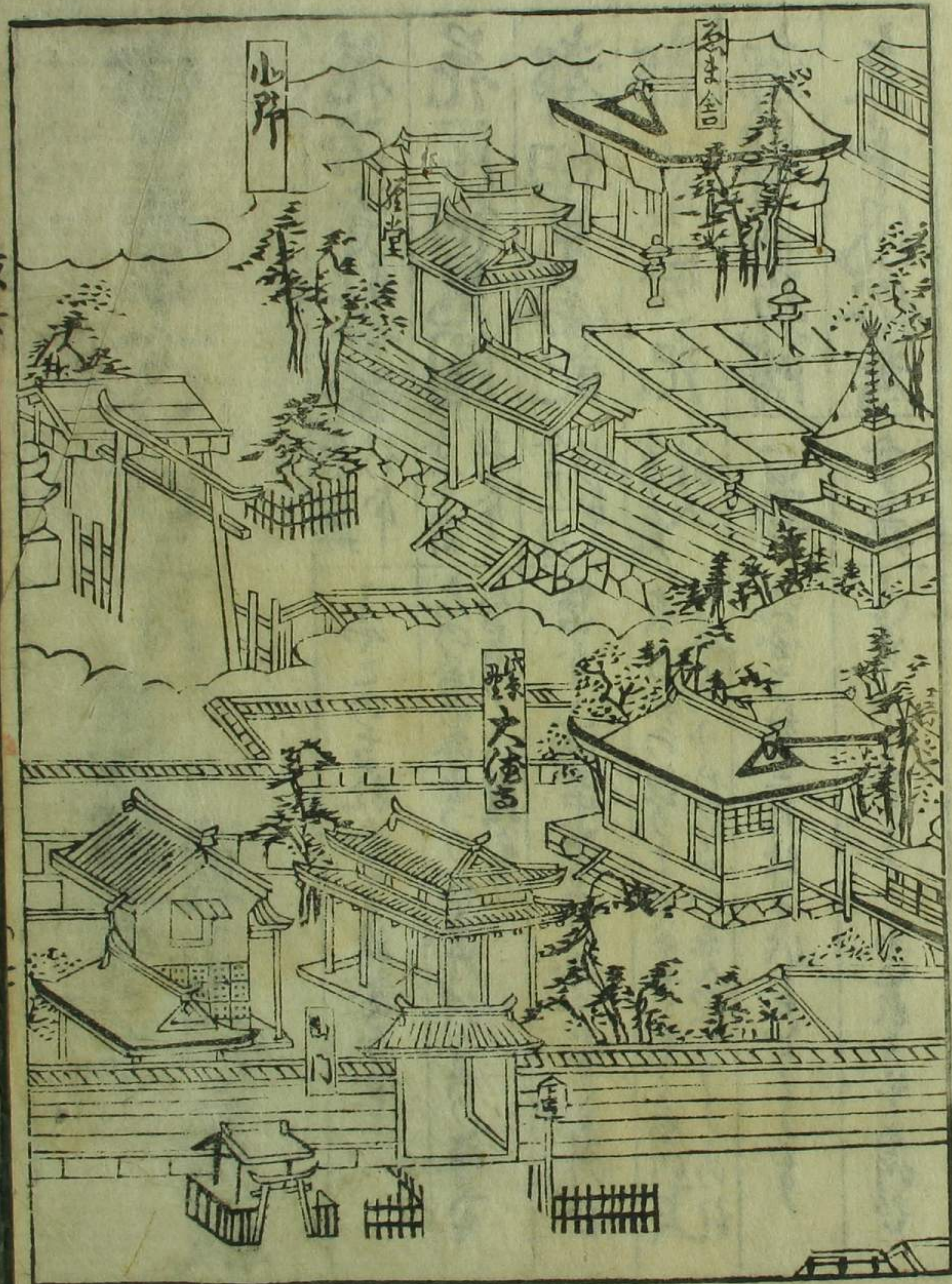
山

山











寶曆十三年己三月

京祇園之壇之下

系屋仁徳堂の板

花洛寺社金書	全四冊 杉本	この寺社金書は流布あり
花洛細見圖	全五冊 杉本	たの湯のみまつりなる此川本流又 ふせ川くの流あり
都細見番記	全二冊 杉本	懐中本 山城屋中本なる流あり あまくあり
都歳時記	全六冊 法入	京寺社の記り十二月分てあり あま川を おんどのゆゑに流あり あま川を
都鄙系乳附	一枚摺	法入寺社十二月流あり
年中凡俗考	全三冊	年中凡俗考の流あり

明治甲午三月廿四日
 藤野 漸
 氏寄贈

大イ
 三

